

あだたら

A d a t a r a

西暦 2008年冬号

二本松青年海外協力隊訓練所 JICA二本松ニュースレター

2008年冬号(第8号)
— 発行年 4 回発行 —

鏡石町長 (木賊 政雄氏) ごあいさつ

JICAデスク — 徒然なるままに…
— ふくしまグローバルセミナー2007

エッセイコンテスト2007 受賞者発表

所長雑感

シリーズ連載 せかいのくから「ブラジル」

国際協力ミニ用語

新リリース はこちら訓練所  ナースです!

ブータン青年来日!

地元「にほんまつ地球市民の会」が受入団体となって、ブータン青年研修(初等教育)が昨年11月末に実施されました。ブータンからは現地の校長先生を含む12名の教育関係者が来日し、市内小学校の視察などを興味深く行っていました。

鏡石町長のあいさつ

鏡石町の国際交流



鏡石町長
木越 政雄 氏

鏡石町の国際交流は、明治時代に酪農の先進地であるオランダ・リューワーデン市から当町の岩瀬牧場に乳牛が輸入され、その記念に牧場へ一つの鐘が贈られたことから始まりました。その情景を歌った文部省唱歌「牧場の朝」は小学校の音楽の教科書に掲載され、また町のシンボルソングとして、今もなお親しまれています。

平成3年度からスタートした「海外研修事業 Wing21」でも、終了する13年度まで延べ192名の研修生が、オランダをはじめとする諸外国を訪れ、それぞれ国際的な広い視野と感覚を養い、国際人としての役割を認識することができました。

また、岩瀬牧場に隣接する県立岩瀬農業高校でも、姉妹校としてオランダのホウテン高校と交流を行っており、19年度はオランダより10名の生徒が来町しました。

さらに1992年から、オランダとの交流と友情の証であるオランダ祭りも毎年、オランダ大使館の後援をいただき、町をあげて盛大に開催しております。

今後も、ますます交流の絆が深められるよう、また、相互の歴史や文化の相互理解を通じて友好を深め、国際化時代に対応した日蘭友好の交流を未来に継承していくこととします。

鏡石町長 木越 政雄



▲ホウテン校の表敬訪問

JICAデスク — 徒然なるままに…

ふくしまグローバルセミナー2007

「地域、そして世界に生きる。未来の次世代のために」をテーマに行った「ふくしまグローバルセミナー2007」。11回目を迎えた今回は過去最多の160名の参加者を迎え、去る12月15日～16日に二本松青年海外協力隊訓練所で実施しました。

全体会講師には武蔵大学兼任講師、東京外大多言語多文化教育研究センター特任研究員 小山紳一郎先生を迎え「食と農」を切り口に世界と私たちのつながりに気づく講座を展開。分科会には32の講座を設け、1泊2日間、高校生から70代までの世代を超えた参加者が、課題を認識し、それに向かってどう行動でき

るのかを議論し合いました。

参加者からは、「こういった学びの場をこれからも続けて欲しい。」「世界を知り、自分達の生活を見直すきっかけとなった」「たくさんの人達と出会って、話ができたことが何よりの収穫」と1泊2日のセミナーを振り返っていました。

今後もニーズにあった、旬な話題

セミナーの様子は、こちらから！
<http://www.pref.fukushima.jp/>

が提供、共有できる場としてのグローバルセミナーを目指し実施していきます。



「ドンノバード マイクロクレジット」▶
(講師 海外研修バングラデシュ派遣教員による)

国際協力や NGO のご相談は…

JICA と福島県の連携促進など、各種ご相談を「国際協力推進員」が承ります。ご連絡は下記までお願いします。

財福島県国際交流協会 JICA デスク 橋本千賀子
TEL : 024-524-1315 / FAX : 024-521-8308 URL <http://www.worldvillage.org/>

※バングラデシュのノーベル平和賞受賞者ムハマド・エヌス氏が考案したお金の使い方。「ドンノバード」はベンガル語で「ありがとう」の意味



▲全体会 (2日目)の様子。

挨拶やリサイクル活動にも感激

青年研修（ブータン・初等教育）

「ブータンに戻ったら、朝の挨拶やリサイクル活動にも取り組んで行きたい」。そう話すのは、11月の約2週間、二本松市で日本の初等教育について研修を受けたブータンの小学校の校長先生たち12人。校長先生といっても、30歳代前半と若く、何でも取り入れようと意欲満々で、日本の先生たちとの意見交換も時間不足になるほど。授業の中身だけでなく、子供たちの挨拶が徹底されていることなどにも感銘を受けたという。「現在のブータンの地方は、ずっと昔の日本とそっくり。日本の発展の歴史も知ることができた。研修で学んだことを、帰国したら、早速実行に移していきたい」。



「もてなしの心は、観光の最も優れた事例」

青年研修（インド・観光）

街並みを活かした観光や、歴史的観光資源の活用、エコツーリズムなど、会津地方ならではの観光の取組みについて、インドの観光産業の今後を担う世代16人が、11月末から12月中旬まで研修を受けた。娯楽青少年交流の家では、「合宿」をして同世代の日本人と夜まで討論も。行く先々での接待が最大の収穫だったようで「日本のもてなしの心は観光の最も優れた事例ではないか」とまでの声も。そのお返しも込めて、閉講式ではインドのダンスが延々と披露された。



エッセイコンテスト 2007 受賞者発表

自分にてできることってなんだろう

応募作品数
福島県内
1,000 通突破！



JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2007には、今年もたくさんの応募がありました。皆様ありがとうございます！

福島県内の応募作品数は1,041通（中学校782、高校259）、全国の応募総数は49,408通（中学校32,386、高校17,022）でした。

なお、2月23日（土）、JICA 二本松にて表彰式を行う予定です。



福島県内 個人賞・学校賞

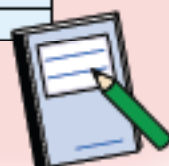
○中学生の部

個人賞名	氏名	学年	タイトル	学校名
国内機関長賞	菅野 翔木	2年	私が考えること、できること	福島市立北嶺中学校
入選	遠藤 翼	2年	「伝えること」がわたしの役目	福島市立福島第三中学校
青年海外協力協会会長賞	本田 香菜子	3年	みんなが幸せになるために	二本松市立二本松第一中学校

○高校生の部

個人賞名	氏名	学年	タイトル	学校名
入選	増子 恵美	2年	微笑みの国から世界の幸せを考える	日本大学東北高等学校
青年海外協力協会会長賞	佐藤 大地	2年	私の夢がかなう時	福島県立あさか開成高等学校

学校賞名	中学校名	学校賞名	高等学校名
学校賞	白河市立白河南部中学校	特別学校賞	福島県立あさか開成高等学校
学校賞	三芳町立聖田中学校	学校賞	福島県立平岡農高等学校
学校賞	桜の聖母学院中学校	学校賞	福島県立いわき光洋高等学校
学校賞	桑折町立藤芳中学校		
学校賞	福島市立福島第一中学校		
学校賞	二本松市立二本松第一中学校		
学校賞	会津若松市立第五中学校		



所長雑感

JICA二本松所長 表 孝雄

ペルー福島県人会とペルー日系人社会

昨年11月南米ペルーから帰国しました。ペルーには今から100年以上も前に同地に渡った日本人そしてその子孫が築いた、大きな日系人社会があります。政治経済をはじめ各方面に人材を輩出。日系人社会を束ねる日系人協会は日本文化の保存・普及に努めるほか、伝統的に社会貢献に熱心です。傘下に4つの病院を持ち、低所得者層に医療サービスを提供。地方にも医療キャラバンを組み定期的に巡回を実施する等、ペルー社会の重要な一翼を担っています。

福島県からも多くの方が移住され、ペルー福島県人会を立ち上げ、約180世帯が暮らしています。昨年100周年を向かえ、福島県知事、伊達市の中村保存太鼓の皆さんほかが参加、記念行事が盛大に行われました。

中南米には多くの移民社会が存在します。でもこれほどまで社会貢献に熱心な移民社会は見当たりません。何故か？その答えは歴史にあるようです。ペルー社会の底辺部に入り込んだ一世は幾多の困難と対峙。誠実・勤勉・節約の精神で多くの方が経済的に成功を収めます。一方で病気等で亡くなられた方も少なくありませんでした。一世は稼いだ富を専ら子弟の教育に充て、そのお陰で二世の時代には医師、弁護士、技師等が出始めます。そんなときこの成功を妬む

空気が一部現地社会に醸成され、日系人商店のみを対象とした略奪が勃発。血と汗で築き上げた財産を失うこととなります。更には、その直後の太平洋戦争では連合国側のペルーは多くの日系人を米国の捕虜収容所に送り込み、資産を没収するのです。

戦後、帰る場所（日本）を失った日系人社会はペルーで生きることを覚悟したものと思います。前述の日系人排斥運動について尋ねると、「日系人が悪い」との答えが返ってくるのです。土日なしで働き商売を繁盛させたが、その影で多くのペルー人の店が潰れていった。現地の慣習に傾注せず、調和の心が足りなかったとも明言。通算7年のペルー滞在で一度もペルーを非難する日系人に会ったことがありませんでした。ペルー日系人社会の過酷な決断を垣間見たような思いです。それ以降ペルー

社会に貢献し根を張ろうとする取り組みが始まります。

90年代になり今度は日系人がデカセギで来日。往来が頻繁になりました。日本から戻った日系人子弟のなかには日本語を得意とする子達も少なくありません。総じて日本に対し良い意見を披露してくれます。でも、よくでる話題の一つが「いじめ」。いじめは日系人だけに当てはまる問題ではありませんが、彼ら・彼女らの場合の共通項は「外人傭れ」。おじいちゃん、おばあちゃんの国と認識している日系人の子供達をどんな思いにさせるのか。発信側にはそれほど悪意はない筈です。あるとすれば異質と認識させる幅の狭さなのかとも思いが巡ります。過渡期の一つの事象かもしれません。だとすれば、できるだけ早くこの時期が過ぎるよう努めたいと思い、ペルーを出国しました。



▲ペルー日系人協会「エンマヌエル病院」

ひとの動き

新任



12月15日
表 孝雄
所長

退任



12月15日
簡井 昇
所長

せかいのくから [第9回]



私のふるさと —ブラジル連邦共和国

ポルトガル語 語学講師 イワサ

私の故郷は南半球に位置するブラジル連邦共和国ですが、その中でも2つあります。出身地であるマラニャン州と、学生時代を過ごしたブラジルの首都であるブラジリアです。

マラニャン州

マラニャン州はブラジルの北に位置し、人種の混在が最も顕著にみられる州です。原住民であるインディオが生活していた土地に、はるばる船でやってきたポルトガル人・フランス人・オランダ人・アフリカ人が何百年も前から生活をするようになりました。マラニャン州の伝統料理・ダンス・方言などの文化は、人種の混在に伴いインディオ・ヨーロッパ・アフリカの文化が融合して誕生したもので非常に興味深いです。ブラジルの公用語であるポルトガル語が正しく話されている地域としても有名であり、最初のポルトガル語文法の教科書はこの地から出版されました。

赤道から2度下に位置するマラニャン州の主要都市サン・ルイス市は、1612年に誕生し現在およそ837万人の人が生活しています。フランスのルイ13世のためにつくられたこの土地の中心を訪れると、レンガ

造りの街並みが広がりヨーロッパの風景と重なります。

一年中暖かい場所に位置するため、サン・ルイスの気候はトロピカルで暑く湿気もあります。電気でお湯をつくるところもありますが、太陽の熱で自然に温められた水をシャワーに使うところが沢山あります。寒い時期の最低気温は20度から25度の間ですが、暑くなると30度以上になります。大きく分けて7月から12月の間が乾季、1月から6月の間が雨季になります。マラニャン州の美しい海岸は640kmあり、ブラジルで最も長いとされています。美しい海岸を楽しむために遠くから訪れる人も少なくありません。

レンソイス・マラニエンセ (国立公園)

レンソイス・マラニエンセとは、世界でも7つの美しい自然に入るほど有名なマラニャン州にある国立公園です。レンソイスとは日本語でシートを意味するので、直訳するとマラニャンのシートになります。この名前の通り、どこまでも白い砂丘が広がっているのもその様子を例えると地球に真っ白なシートが覆いかぶさったようです。

広大な白い砂丘の間には、川や池



▲マラニャン州のレンソイス国立公園

が点在し緑もあるのでその光景はとても神秘的です。乾季が続くと消えてしまいそうな池も、雨が降ればその水位は上がり小さな魚が泳いでいるので観光で訪れた人を驚かせています。

ブラジリア

ブラジリアはブラジル連邦共和国の首都として建設されました。1960年に首都として誕生し、建築において最も美しく興味深い都市としてUNESCOに選ばれました。この都市を建設するために用意された設計図は、飛行機と同じかたちで描かれているため上空から見ると飛行機や十字架に見える人もいます。ロシアの宇宙飛行士Yuri Gagarinがブラジリアを訪れたときに、地球ではなく別の星に到着している印象を受けたことを言葉で残しています。

政府機関の建物が規則正しく並び、所々に幾何学的な形をした建築が存在するので細部に渡って計算されてつくられた都市であることは車で少し走れば実感できるでしょう。美しい自然に恵まれたこの国の首都はとても人工的で、世界がブラジルに対して抱くイメージとは対照的なものかもしれません。

次回予告 フランス語 語学講師 ショクリ先生 …チュニジアの話をどうぞお楽しみに！！



ブラジル連邦共和国

ブラジル連邦共和国 Data

面積：851.2万平方キロメートル
(我が国の22.5倍)
人口：1億8,352万人
(2006年地理統計院推定)
首都：ブラジリア
通貨：レアル
1米ドル＝2.1レアル
(2007年2月現在)
(1レアル＝約57円)



World Quiz ワールドクイズ

Q 「9月7日はブラジルの独立記念日。1822年のこの日、ポルトガルから独立が宣言されました。さて、ブラジルという国名は何の名前に由来する？」



- ①川 ②木 ③気候
- ④コーヒー豆 ⑤独立運動の象徴者

答えは●ページに

国際協力ミニ用語 Q. 「JETプログラムとは」

A. 「Japan Exchange & Teaching Programme」の略。1997年から始まった外国青年派遣事業。地方公共団体が主体となり、「留学教育の改善」、「地域国際交流の推進」を行っています。

こちら訓練所

ナース です!

●ここは2名体制の「診療室」であり、学校でいえば保健室のような存在で、年4回行われる派遣前訓練の海外ボランティア候補者へ産産管理支援業務を担当しています。

候補者は、日本全国から集まっているので、福島県に足を踏み入れるのは初めての人がほとんどです。

そこで、病院の情報提供もわたしたちの仕事になります。以前、樹病院へ行くように伝えたところ、タクシーで到着したのは樹記念病院ということがありました。地元では当たり前のように区別がつくことでも、初めての人にはわかりにくいことはあります。その方は、早朝ランニング中、ハチに刺されてしまったのです。この土地柄なんですね。

土地柄といえば、他にもブユやカメムシにも悩まされます。熊が出るかもしれないと聞いているのですが、どうなのでしょう。

65日間の訓練とはいえ、病気になる人は少なくありません。環境の変化、語学の勉強、集団生活などでストレスを感じる人も多く、それが原因になっている場合もあります。そんなとき、あだたらの自然はわたしたちの目にいろいろなもの映し、感じさせてくれます。微笑みを返したくなる桜の季節、生命力を感じる木々の緑、心癒まる紅葉に、澄んだ空気に輝く無数の星。そして忘れてはいけません、智恵子が見た青空に癒されているのです。



健康チェックしましょう!!



●訓練所のナースはいったい何をやっているの?と思われる方は多いと思います。保健室のような役割もありますが、特徴的なのは、我々は海外ボランティア経験者なので、途上国での産産管理について、これから派遣される候補者へ助言をすることができるとのことです。

候補者は2年間ボランティアをするにあたり、日本にはない熱帯病や他の風土病の知識を得るための講義を受講しています。しかし、見たことも経験したこともない病気を想像するのはむずかしく、そこでわたしたちの経験が生かされます。

JICAの産産管理は自己管理が原則です。日本では誰もが119で救急車を依頼できます。(この訓練所でも北消防署には何度もお世話になっています。感謝です。)しかし、途上国ではそうはいかないということです。病院に行くまで数時間あるいは1日かかるとか、近くの病院では治療ができないとか、そういう状況がその国では普通なのです。自己管理とは、まず予防に徹すること、次に異変を感じたら早めに対応することです。とはいえ、訓練中に限って申し上げますと、候補者の多くは症状がひどくなるまで頑張ってしまうようです。

1月から始まる訓練は、毎年インフルエンザ患者がぐまです。この集団生活の中で、いかに患者数を最小限にとどめられるか、今のところ優先順位は訓練中の産産管理です。

診療室 大熊由美子(写真左) 安達恵子(写真右)

2月～3月の イベント情報

- | | |
|----------|---|
| 2月 6日(水) | 公開講座「日本の近・現代史」
(於：JICA二本松) |
| 2月 7日(木) | 出前講座 郡山ロータリークラブ |
| 2月 9日(土) | 公開講座「異文化の理解と適応」
(於：JICA二本松) |
| 2月11日(月) | 公開講座「環境と開発」
(於：JICA二本松) |
| 2月13日(水) | 施設見学 二本松市立油井小学校 |
| 2月15日(金) | 施設見学 二本松市立南戸沢小学校 |
| 2月18日(月) | 施設見学 福島市立佐原小学校 |
| 2月20日(水) | 施設見学 二本松市立二本松南小学校 |
| 2月22日(金) | 公開講座「イスラム教とは何か」
(於：JICA二本松) |
| 2月23日(土) | エッセイコンテスト2007表彰式
福島県受賞者対象(於：JICA二本松) |
| 2月25日(月) | 施設見学 二本松市立安達太良小学校 |
| 2月28日(木) | 出前講座 郡山市立明健小学校 |
| 3月 7日(金) | 公開講座「地球のステージ」
(於：JICA二本松) |
| 3月13日(木) | 施設見学 鏡石町国際交流推進協議会
19年度4次隊修了式 |

いのち、輝け!
— 途上国の健康を守るために —

08年1月21日(月)～3月14日(金)

二本松訓練所のJICAプラザで「保健医療」に関するゲームやジオラマを展示中です!!

「入所式」

いよいよ真冬の訓練が始まった。

平成19年度4次隊入所式

これより「入所式」を始めます。

「シニア」が加わり、入所式の賑ふれも大きく変わった。

平成19年度4次隊入所式

国歌斉唱、みなさまご立席願います。

「君が代」の質もグッと向上し、

「シニア」パワー健在の今日この頃である。

婦人コーラス隊出身

さすがシニア...

編集後記

1月8日は「どんと焼き」。お祭りや門松を焚き、その年の健康を祝う行事です。JICA近辺の山村でも、あちこちで煙が上がりました。 — (ジャイ男)



JICA二本松へのアクセス

独立行政法人国際協力機構
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558
福島県二本松市永田字長坂4-2
TEL : 0243-24-3200
FAX : 0243-24-3214
E-mail : jicanjv@jica.go.jp

※皆様からのご意見等をお待ちしております。



◆本誌、バックナンバーがご覧になれます... URL <http://www.jica.go.jp/branch/ntc/jimusho/newsletter.html>

© 2008 JICA. All rights reserved. 印刷：印刷局 印刷：印刷局 印刷：印刷局